

20083

コメディカル主催による院内カテーテル治療ライブデモンストレーションの取り組み

【はじめに】2011年5月、当院においてカテ室が改築され、院内ライブが行えるように天井埋め込み Web カメラやインカム装置等が増設された。そこで今回、コメディカル自身のスキルアップとカテ室業務の改善を目的に、心臓血管カテーテル治療センター医師の協力のもと、コメディカルが主体となってライブの企画・運営を行ったので、その取り組みを報告する。

【方法・結果】企画・運営に関してはコメディカルの主任・中堅クラスがリーダーとなり、これまで計4回院内ライブを実施した。形式はライブと症例に応じたミニレクチャーを行う形とし、PCIやEVTの手技、デバイスや患者管理等についてディスカッションが行われた。

【考察】当院カテ室スタッフは専従ではなくシフトによる勤務のため、急速な進歩を遂げるカテーテル治療に対応するのは容易なことではない。また、カテ室においては各スタッフ個人が自分の仕事だけをするというよりも、チームで共に考え仕事するという状況が特に多いと思われる。その中でライブを通じて互いの仕事の動きを把握することにより、互いをフォローしあい、より良いチーム医療が行えると考え。現在、院内ライブを始めてから3年経過したが、少しずつそのような傾向に向かっていると思われる。また、ライブでは仕事の動きを互いにリアルタイムに見ることができる。日々の多忙な業務の中ではしっかり見ることは難しい。部門内で業務報告を受けても、見るという行為に比べると限界はあるため、ライブはコメディカル自身のスキルアップとカテ室業務の改善に有用であると考え。